



卒業生インタビュー



岡本 沙和子

アステラス製薬株式会社 製薬技術本部
バイオ技術研究所 勤務
2015年3月 理工学部 応用化学科 卒業
2017年3月 理工学研究科 基礎理工学専攻 修了

研究室で学んだ多くのことが 新薬を世に出すための仕事に活かされています

いま私は製薬会社でバイオ医薬品の分析技術開発業務を担当しています。新しく開発された医薬品が高い品質で、かつ安定して患者さんのもとに届けられるよう、製造プロセスにおいて品質をモニタリングするための試験法の開発や、出荷される製品の品質を保證するための試験法を設定することが主な業務です。

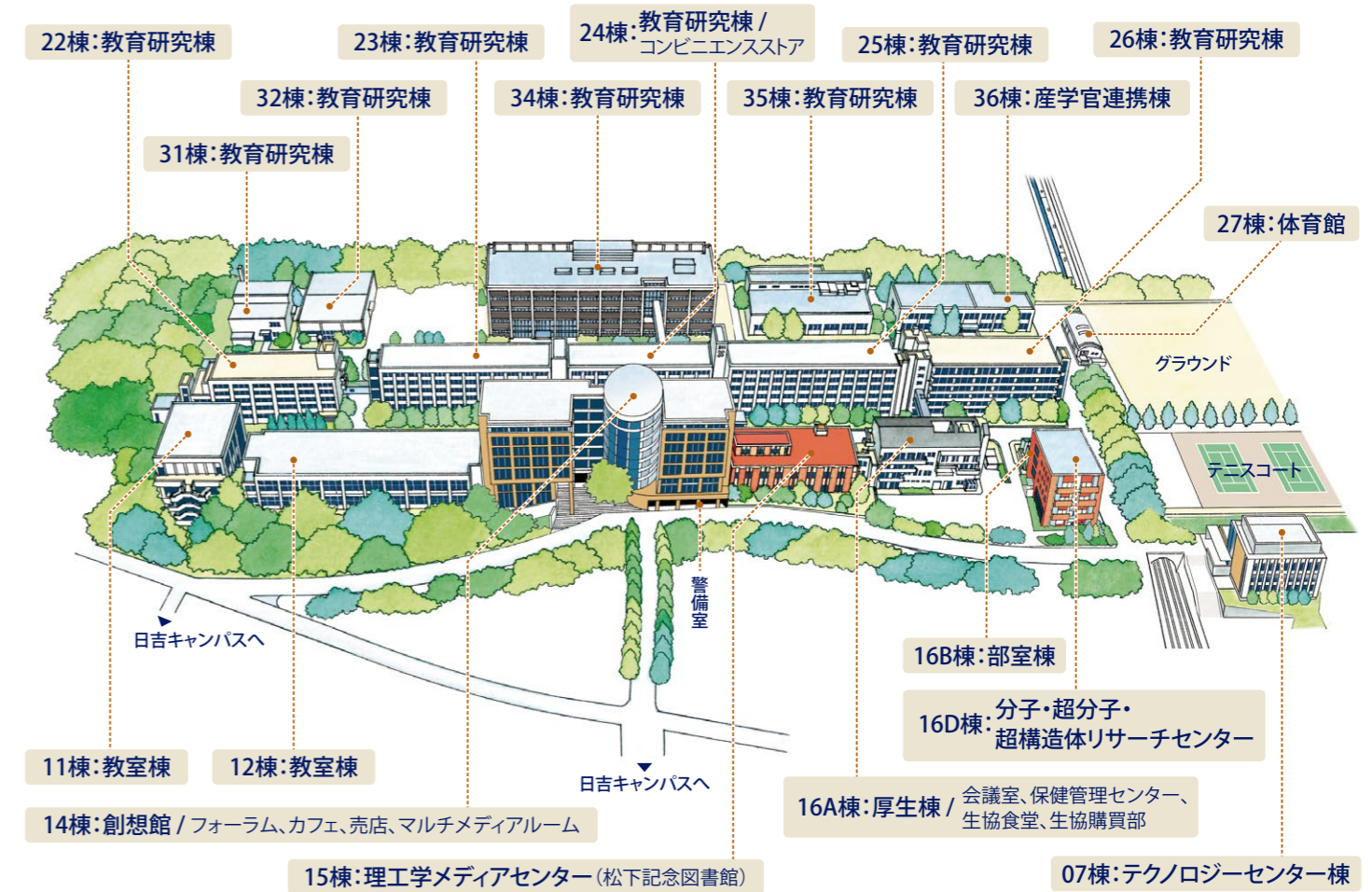
バイオ医薬品は一般的な低分子医薬品に比べて複雑な構造をしており、プロセス開発における物性や品質の評価には高度な分析技術が要求されます。求められる知識や技術などが多く大変ですが、新薬を早く、かつ安定的に、高い品質で世に送り出す仕事に就いていることに、大きなやりがいを感じています。

学生時代は「C-mannosylation (シー・マンノシレーション)」というタンパク質への糖鎖修飾の研究に携わっていました。私の現在の所属部門には、分析の業務を担う研究室のほかに、培養や精製の業務を担う研究室があ

り、それぞれが独立し、かつ連携して仕事を進めています。大学の研究を通して経験していたことがまさにこの一連の業務内容と合致していますので、現在の各研究室と連携して仕事を進める上で非常に役立っています。加えて、“必ずデータに基づいて議論する姿勢”や“情報をインプットする方法”、“研究結果を伝えるためのアウトプットの方法”など、学んだことの多くが、現在の業務でも広く活かされていると実感しています。

昨今の技術の進歩は目まぐるしく、また、海外バイオ企業との協働の開発業務も含めて新しいものをキャッチアップすることが必要不可欠です。振り返ってみると学生時代は時間に恵まれていたと感じますので、自分の専門分野に打ち込むことだけに囚われず、違う分野を覗いたり、ちょっと足を踏み入れてみたりすることもできると思います。さまざまな人と出会って視野を広げ、やりたいことに後悔なく挑戦してください。

矢上キャンパスのご案内



幅広い分野に目を向けて 自分がやりたいことを見つけたい

子供の頃から自動車が大好きで、いまも理想の車を創るという夢を追いかけています。“空飛ぶクルマ”を実現するために、仲間と立ち上げた有志団体CARTIVATORで実機の開発を行うと同時に、慶應のシステムデザイン・マネジメント (SDM) 研究科「空飛ぶクルマ研究ラボ」の研究者として、実用化に向けた研究に取り組んでいます。開発の方は、現在1/1スケールの試作機を屋外で飛行させる実験を行っている段階です。人を乗せることができる大型のドローンをイメージしていただければよいと思います。

大学時代は、最先端分野の研究に携わりたいという思いから、興味のある流体力学の中でも、髪の毛ほどの細さの流路を流れるマイクロスケール流体の現象解明に取り組んでいました。大学院修了後はトヨタ自動車株式会社に就職し、主に車両設計を担当していま

したが、“空飛ぶクルマ”の事業化に専念すべく、2018年4月に退職し、現在に至っています。いまの仕事においては、機体を開発することに加え、スポンサー企業や関係省庁などの調整が非常に重要です。工学の基礎、機械加工やプログラミングの技術など、大学で学んだことが機体を作ることにダイレクトに役立っていますし、学生フォーミュラというレーシングカーを設計・製作するサークル活動で、スポンサー獲得のために多くの企業を回ってプレゼンをした経験も大きな糧になっていると感じています。

学生時代は、勉学や研究を通して知識やスキルを身につけるだけでなく、幅広い分野に目を向けて、ぜひ「自分はこれをやりたい」という軸を見つけてほしいですね。それが見つかれば、実現するための勉強や研究のモチベーションが自然と生まれてくるでしょう。



中村 翼

有志団体CARTIVATOR 共同代表
慶應義塾大学大学院 SDM研究科 研究員
2007年3月 理工学部 システムデザイン工学科 卒業
2009年3月 理工学研究科 総合デザイン工学専攻 修了



14棟 / 創想館



34棟 / 教育研究棟



34棟 / IBM Q Network / ハブ



26棟 / 中央試験所



34棟 / マニュファクチャリングセンター



25棟前 / 藤原銀次郎の像